

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 22 号)

2022年 4月 7日発行
 兵庫のみ研究所

海域全域に、栄養塩を消費する珪藻類はほとんど確認されませんでした。窒素は、明石海峡部～林崎漁場で概ね2 $\mu\text{g-at/L}$ 前後、魚住漁場以西では、陸水等の影響が見られる地先で概ね3～5 $\mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋で1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値でした。

(水温) 漁場内平均12.0℃。昨年比0.4℃ 低く、平年比0.3℃ 高い。(塩分) 平均31.91psu。前回 (31.96) より0.05psu 低い。
 (栄養塩、珪藻) 海域全般に、小型珪藻のキートセロスやスケルトネマ等は散見されるが、発生量は極めて少ない。大阪湾漁場では、スケルトネマの大量発生に伴い栄養塩が減少しているため、明石海峡部の窒素も減少傾向にある。
 小潮で潮流が非常に緩やかな時間帯に調査を行ったこともあり、魚住漁場以西の地先では陸水の影響が強く見られ、窒素の値は高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.0	12.0	11.7	12.4
窒素	2.5	3.0	3.2	2.0
リン	0.28	0.24	0.26	0.28

(4/1)

(4/7)

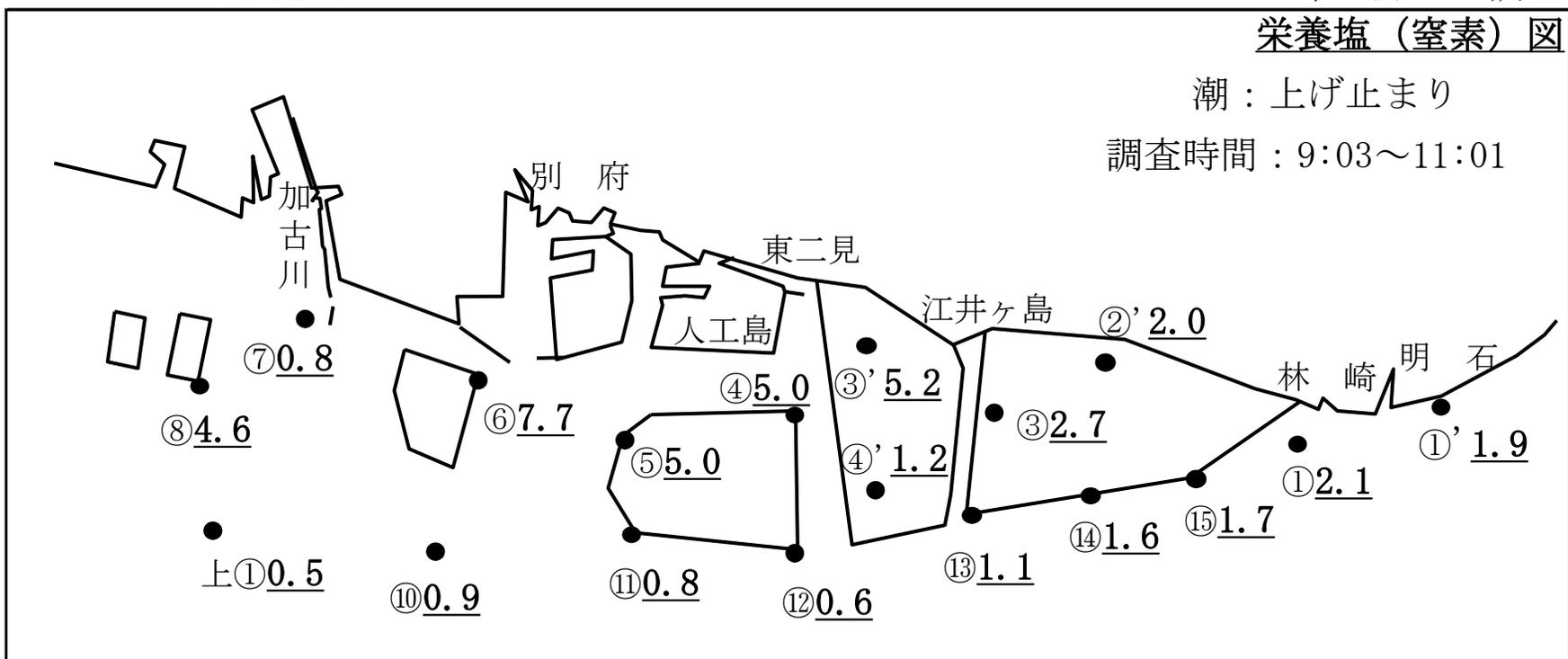
※窒素の平均は別府を除く

2022年 4月 7日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ止まり

調査時間：9:03～11:01



水温図

